

5月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年6月18日

■ 調査対象店舗 : 20社40店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)

■ 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれず。

1.免税手続きベースの売上および対前年比

◆ 売上高総額 (40店舗) …… 15億2,166万円余 (1店舗平均: 約3,804万円)

◆ 売上高前年比 (40店舗) …… 157.1%

2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

◆ 購買客数合計 (40店舗) …… 26,060人 (1店舗平均: 652人)

◆ 購買客数前年比 (40店舗) …… 152.4%

3.免税手続き一人当たりの購買単価

◆ 一人当たりの購買単価 (40店舗) …… 58,391円

◆ 一人当たりの購買単価前年比 (40店舗) …… 103.1%

4.外国人観光客に人気のあった商品

第1位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、コート、ワンピース、Tシャツ)

第2位 ハイエンドブランド (カルティエ、グッチ、シャネル、ルイ・ヴィトン、ボッテガベネタ)

第3位 婦人服飾雑貨 (化粧ポーチ、ハンカチ、靴、革小物、傘)

第4位 紳士服・雑貨 (バーバリーブラックレーベル、ゴルフウェア)

第5位 化粧品 (資生堂、SKII、アルピオン、ファンケル)

- ◆ 前年と比較し、シャネル、グッチ、ボッテガベネタ等特選ブランドのご利用幅が増えていると感じる。(札幌)
- ◆ 今月もエルメスの高額バッグのまとめ買いが多かった。バーバリー等人気商品の傾向は変わっていない。(東京、大阪)
- ◆ このところ化粧品の購買は男性客にも見受けられ、お土産需要の高さを感じる。また、美白効果の高いUV化粧品は、事前に情報を収集してから購入されている。(銀座、新宿、大阪)

5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第1位： 中国本土 第2位： 台湾 第3位： 香港 第4位： 韓国

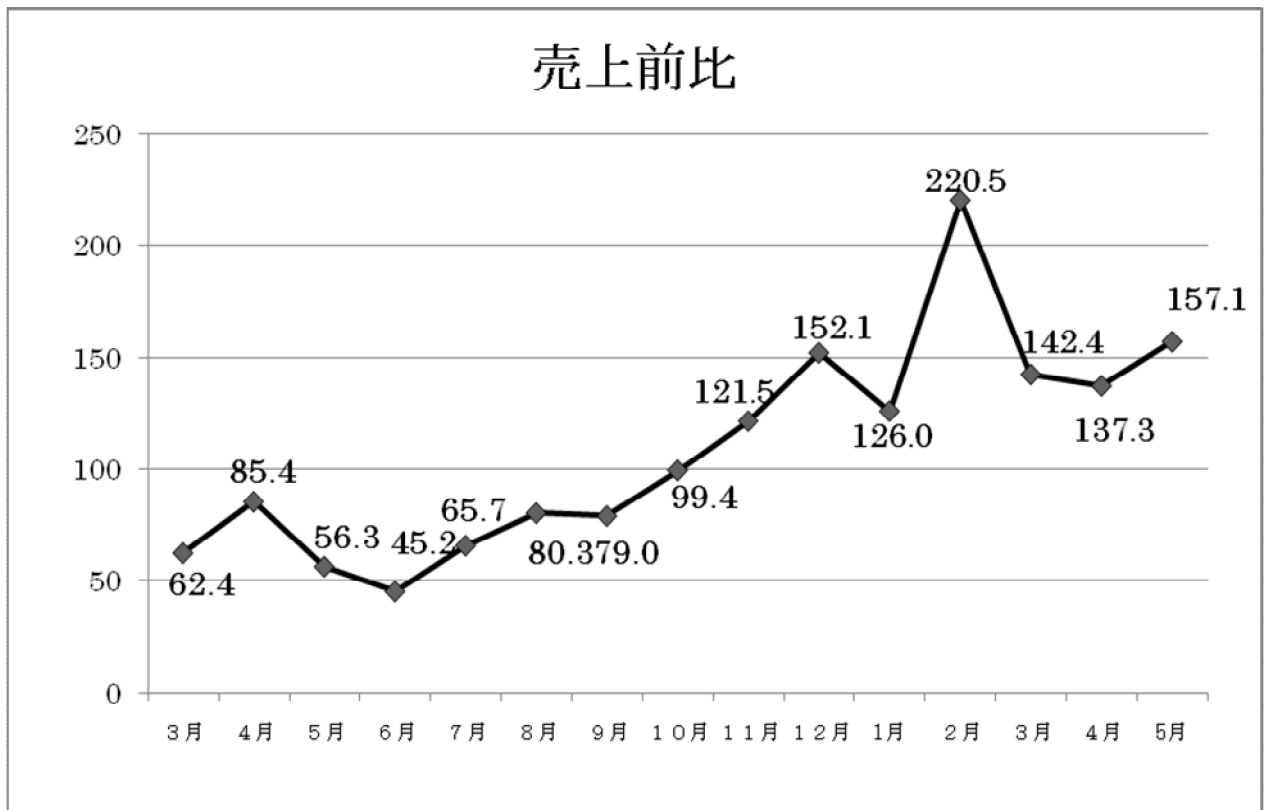
第5位： シンガポール 第6位： マレーシア 第7位： タイ

6. 今月の概況他

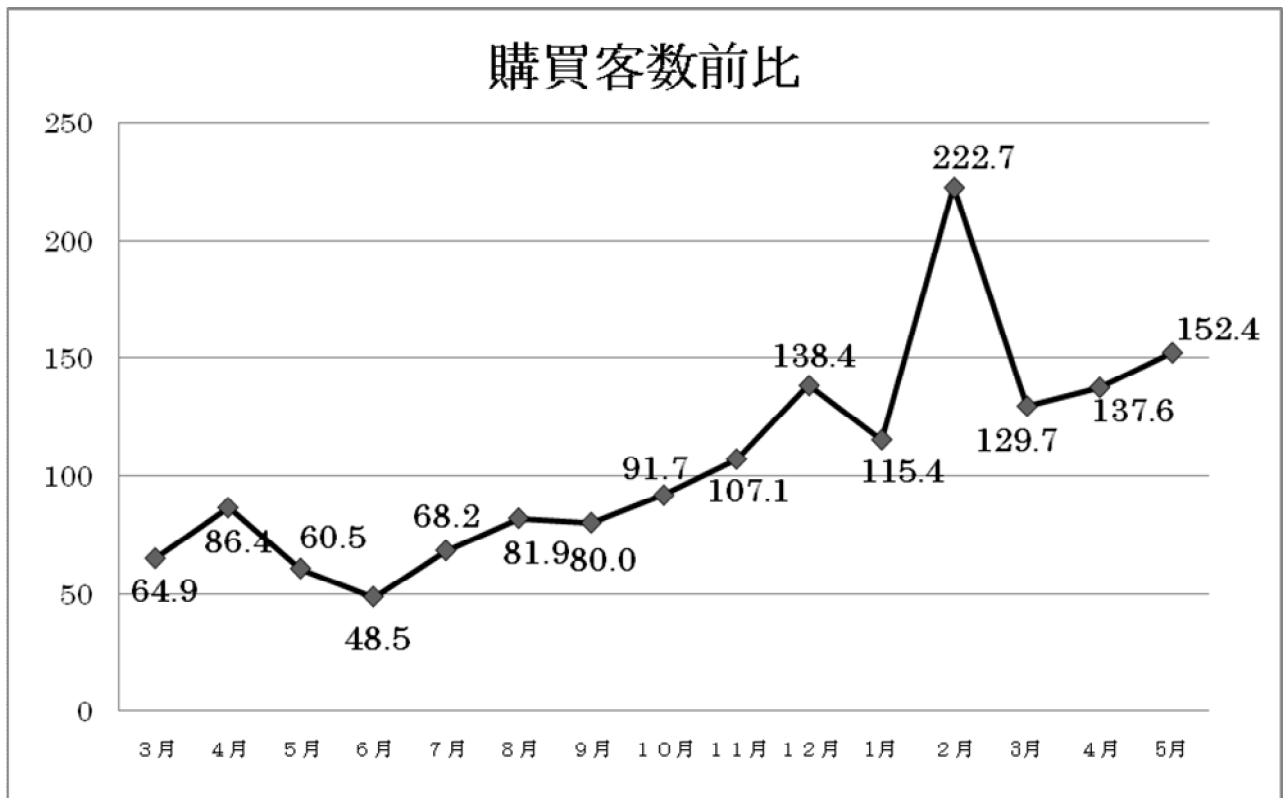
- ◆ 売上、客数とも昨年比を大きく上回り、40店舗中 34 店舗がプラスに転じた。
- ◆ 月初めは、中国の労働節よりもむしろ仏誕節(タイの祝日:御釈迦様の誕生日。今年は5/12)の方が客数・購買額とも多かった。(新宿)
- ◆ 銀聯カードの売上は好調だった。(銀座、新宿)
- ◆ 最近のお客様は、事前にネットで情報収集してから来店されるので、ブランドに対する意欲や百貨店に来店する目的が明確であることが伺える。(新宿、銀座)
- ◆ 台湾からの来店客が大きく伸長し、香港、中国本土を上回った。上海万博の影響で、中国本土からの訪日が減っているのではないだろうか。(池袋、渋谷)
- ◆ 韓国の来店客数が大きく回復したお陰で、売上増加に繋がった。(熊本)
- ◆ 5/7、5/20、5/28 に外国人観光客船が入港したため、売上が大きく伸長した。(鹿児島)

以上

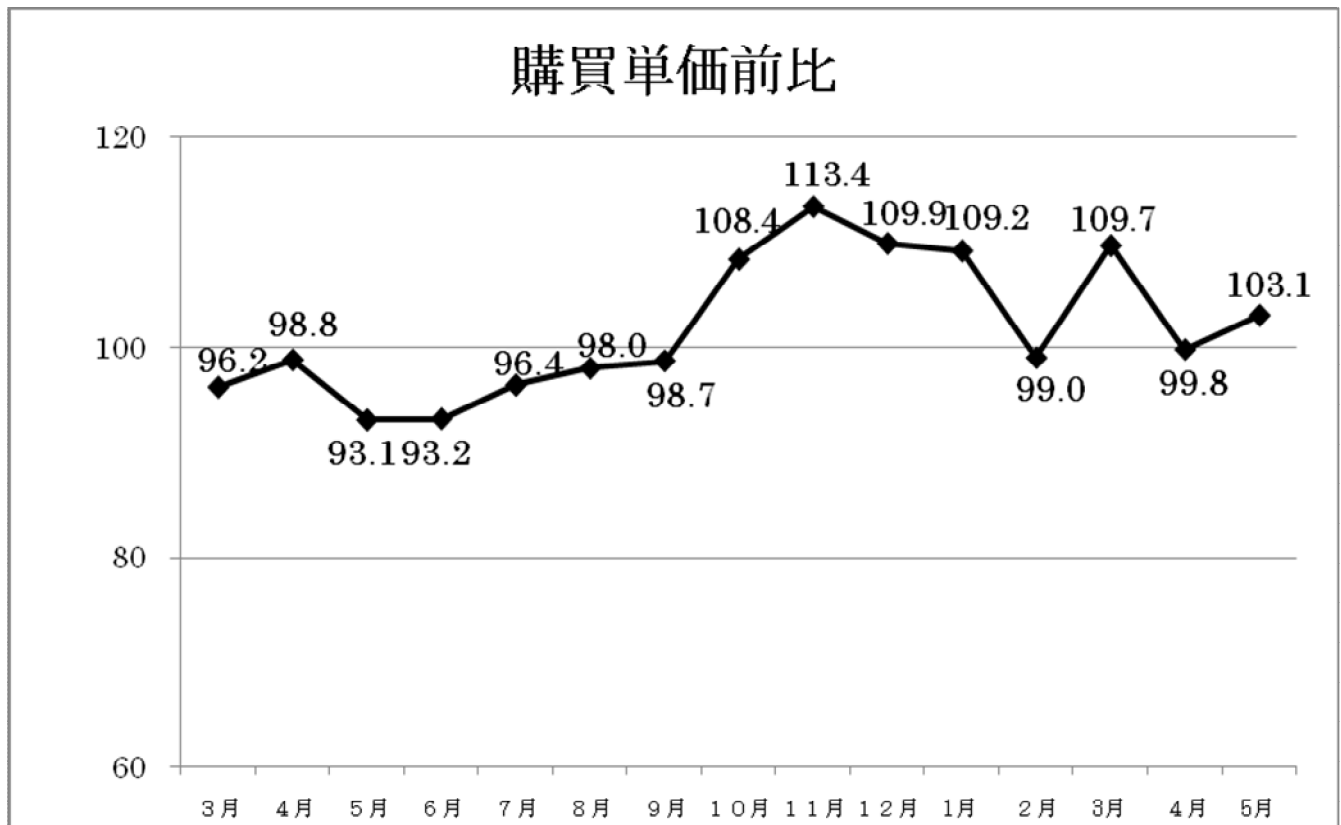
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666